

## 多機能化する携帯電話 通話のマナーだけでなく 01 個人情報の管理にも注意を。

### 昨今の携帯電話事情

総務省の統計（2006年度）によりますと、PHSを含めた携帯電話の全国普及率は約9割にも及んでおり、ほぼ全国民が一台ずつ携帯電話を利用していることとなります。近年は高機能化も著しく、カメラ付きはもちろん、音楽再生、ワンセグ（テレビ）、決済機能、GPSなど多彩な機能・サービスが搭載され、若者を中心に人気を集めています。2006年10月にはナンバーポータビリティ(MNP)制度が導入され、電話番号を変えずに他社への乗り換えが可能となったため、各社の利用者獲得競争も熾烈さを増しています。

このような状況から、当初は公共の場所での音声通話を控える程度でよかった携帯電話のマナーも、メール、写真撮影、音楽・画像再生などにも十分な配慮が必要となってきました。その利便性を楽しむ前に、以下のようなマナー・注意点を覚えておきましょう。

### 携帯電話のマナー

- ①使用禁止の場所では電源を切る。病院、図書館、授業中などは確実に切る。運転中も電源を切るのが望ましいが、通話が必要な時は安全な場所に停止してから使用すること。
- ②電車・バス内での使用はマナーモードにして通話は控える。ただし、優先席付近では電源を切ること。どうしても通話する必要があるときは、通話口に手をあてて「電車内なのであとから電話する」などと小声で告げ、すぐに通話をやめる。
- ③電車・バス内でもメールなら迷惑にならないと思いがちだが、電波が問題なのだから優先席付近では使用しないこと。もちろん、インターネット接続も同じ。

- ④むやみに写真を撮らない。他人を勝手に撮影してインターネットに掲載すれば肖像権侵害、書店で必要なページを撮影すれば窃盗罪に問われるなど、軽い気持ちでの撮影が思わぬ犯罪になる場合が多い。「わからなければいい」という考え方は絶対にしないこと。
- ⑤音楽・画像を楽しむ場合は、周囲への音・光漏れに十分配慮する。
- ⑥携帯電話は本人・他人の個人情報が記録されていることを強く認識し、管理を徹底する。とくに決済機能を利用している場合は、悪用される危険性が高くなるので注意すること。

